



# 関東中央病院 Memories 思い出のアルバム No.9

このシリーズは、平成5年（1993年）1月から、「緑のひろば」で12回にわたって連載された記事の再掲載です。



天井つづきの総室

上の写真は旧西病棟の総室（大部屋）の写真です。昭和38年頃です。

この頃の病院で大部屋と言えば20ベッド位が多く、総室とはいえ当院の一区画は6ベッドで画期的なものでした。

総室はいろいろな面で非常に問題が多かったのも事実です。プライバシーや院内感染予防の面から言えば、昨年改築が完成しマスコミでも話題に上がった聖路加国際病院のように全室個室にするのが理想ですが…。

現在ベッドサイドには最新のメディカルユニット（ナースコール、電源、スタンド、酸素、吸引アウトレット等）を装備しています。

昭和35年の病室の写真（左下）をご覧ください。このころもメディカルユニットが装備されていますが、このユニットの中には、なんとラジオが装備されていました。当時としては最先端のサービスだったようです。ただし、故障が多く宝の持ち腐れでした。

（平成5年9月号掲載）



当時としては最新のメディカルユニットを備えた旧西病棟病室



現在（平成5年）の個室

◆次回は平成26年1月号に掲載する予定です。